

2019 年度 学校評価 中間報告

令和元年 9 月 4 日
生徒会指導部 鉢村美幸

	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情など）
		3 2 1		
1. 生徒会	・生徒会本部役員生徒に 2000 人の生徒の代表である誇りと自信を涵養する	2	週 2 回の会議や様々な活動を積極的に行っており、指導成果が出ている。責任感の涵養に努めたい。	入学式参列 対面式挨拶 部活動紹介・体験会 生徒総会
	・生徒会本部役員の自主性を支援する	2	生徒の主体性を尊重する方針に基づき、指導を継続する。	体験入学見学ツアー
	・生徒会の存在感を強化する	2	生徒会バッジを作成した。新入生に生徒会周知のためのリーフレットを配布した。	生徒会バッジ 生徒会リーフレット
	・発信力を強化し、行事および日常活動についての呼びかけ・報告を頻回に行う	3	全体集会で生徒会長挨拶。放送部と連携し行事についての呼びかけを行った。行事や活動の呼びかけや発表に主体的な工夫が見られる。広報課と連携し HP 発信にも注力している。	生徒会長定例挨拶 部活動入部呼びかけ 文化祭テーマ募集 文化祭テーマ発表 HP
	・評議会機能をさらに高め、学校全体の一体化と生徒会活動の強化をめざす	2	生徒総会や文化祭準備を通して評議会機能を活発化。	生徒総会 文化祭準備
	・行事などを通して全校生徒の潜在能力を開発し自尊心を養う	2	行事では生徒会が中心となり多くの生徒に活躍の場を提供している。	部活動紹介・体験会 生徒総会 文化祭準備
	・外部交流を進め、地域に貢献するとともに、視野と活動の幅を広げる	2	「きさこん」活動が定着化。視野の拡充を感じる。さらに充実を図る。	きさこん高校生記者 未成年者飲酒防止キャンペーン参加
2. 委員会	・各委員会活動を通して、生徒たちに仕事の喜びと責任感を涵養する	2	委員会ごとに特色ある活動を展開中。行事での連携を図る。	各委員会の活動
	・委員会委員長の先生方と協力し、組織を整備するとともに活発な具体的活動を支援する	2	委員会のさらなる活発化に協力する。	行動計画書の実施
	・評議会への各委員会委員長生徒の参加を定例化する	3	行事及び全般的活動に対し、委員会サイドからのアプローチを実現している。	評議会に委員長生徒参加
	・活動報告を生徒総会・全体集会時に言い、周知させるとともに委員の意識を高める	1	活動報告は今後の課題である。	
3. 部活動	・部活動・同好会全体加入率 60%、1 年生 70%を目標とする	2	部活動紹介・パンフレット・入学式後の勧誘活動等、精力的に活動した。加入率は昨年度より減少。	全体加入率：53% 1 年生加入率：55%
	・勧誘活動の強化策を各部と連携して講じる	2	各部との協力により勧誘活動を展開。入・退部届用紙、システムをさらに改善した。	部活動紹介・体験会 パンフレット 入・退部システム
	・入退部システムの定着を図る	2	呼びかけを継続する。	
	・部活動報告を発信する	1	広報課に協力。生徒会長挨拶や「きさこん」での発信を図る。	
4. 行事運営	・各行事の意義を大切にし、生徒の潜在能力の発揮・開発の場とする	2	行事の意義を踏まえ、生徒会が中心となり多くの生徒に活躍の場を提供している。	部活動紹介・体験会 文化祭準備
	・各行事をさらに盛り上げ、企画・運営の精度を高める	2	反省をもとに、新機軸をうちだすとともに、企画書や進行表およびリハーサルを通して精度を高めている。	部活動紹介・体験会 文化祭準備 クラス企画アイデア集 冷蔵庫・シンク導入

	・各行事の安全で安定的・円滑な運営を実施する	2	昨年度の反省、アンケートの意見をもとに、改善を図る。	部活動紹介・体験会 文化祭準備
	・文化祭の企画・運営を学校全体で行う仕組みを強化する	2	テーマ募集、ポスター選考を生徒主体で行った。今後は役割分担表などで協力関係を明文化する。	文化祭準備
	・行事反省に基づき、企画を一から練り直し、改善点を模索する	2	発表の場を至真殿フロアにし、ダイナミズムとスムーズな運営を実現した。	部活動紹介・体験会

(注) 自己評価： 優れている…3 適切…2 改善が必要…1